



スポット
ニュース

あぶしな 阿夫志奈神社の奉納物や本殿の年代測定を行いました

東濃地科学センターでは、地層科学研究の一環として、過去数万年までの地層ができた年代や雨水が地下水となった年代を推定するために、加速器質量分析装置を使って測定を行っています。今回は、室町・戦国時代といった今から数百年前の比較的若い年代についての測定の精度を確認するため、岐阜県加茂郡川辺町にある阿夫志奈（あぶしな）神社の奉納物や本殿の年代測定を行いました。

阿夫志奈神社は、818年に社殿が建立され、897年に現在地（上川辺地区）に移されたと伝えられています。また、社務所には甲冑や絵馬など貴重な品が納められています。今回は、神社関係者や川辺町役場の方にご協力いただき、町指定文化財の獅子頭2種と本殿などの年代測定を行いました。その結果、2種の獅子頭に使われた木材の年代は、ともに14世紀から15世紀のものであることがわかり、獅子頭に刻まれていた作製年代である1532年及び1697年とは矛盾がなく、測定結果が妥当であることが確認できました。また、本殿改築年代については、1202年までの記録しかありませんでしたが、本殿の柱の測定結果から江戸時代以降にも改築されたことが判明しました。

これらの測定結果については、7月5日に神社関係者や川辺町役場の方々に報告を行いました。

※年代測定方法については、右欄に掲載の「東濃地科学センターにおける加速器質量分析装置による年代測定法」をご覧ください



阿夫志奈神社社殿



1532年作製と刻まれていた獅子頭

立坑の掘削深度 (7月22日現在) 主立坑 500.2 m 換気立坑 500.2 m

※主立坑は7月11日に深度500mに到達しました。なお、詳細は来月号で掲載予定です。

◀地層研ニュース等に関する連絡先▶

地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記へご連絡ください。

【電話】0572-66-2244(代表) 【FAX】0572-66-2124 【E-Mail】tono-ck@jaea.go.jp

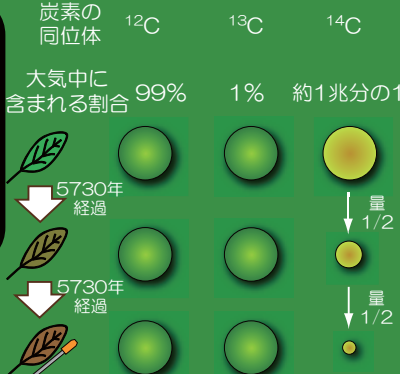
《東濃地科学センターHP: <http://www.jaea.go.jp/04/tono/index.htm>》

東濃地科学センター 地域交流課（戸祭、飯島、牧田、福島）



東濃地科学センターにおける加速器質量分析装置による年代測定法

今月号は、「東濃地科学センターにおける加速器質量分析装置による年代測定法」について紹介します。



自然界では宇宙線の作用により常に極微量の放射性同位体が生成されています。

東濃地科学センターでは、C(炭素)の放射性同位体のうち、¹⁴Cを利用した年代測定を行っています。¹⁴Cは、時間とともに壊変し5730年で元の個数の半分になります。このように決まった時間とともに壊変して、その量が減少するという性質を利用して、放射性同位体の濃度を測定することで年代を推定することができます。加速器質量分析装置を使うことにより、測定するための試料が少なく済み、また約6万年までの年代を調べることができます。

詳しくは下記のHPをご参照ください
(<http://www.jaea.go.jp/04/tono/shisetsu/pere/pelletron2.html>)

来月の主な作業予定 (8月)

【瑞浪超深地層研究所】

- ①深度500mの水平坑道の掘削工事
- ②深度300m研究アクセス坑道のボーリング孔を用いた地下水の水圧観測を継続
- ③深度200mボーリング横坑のボーリング孔(2孔)及び深度300mボーリング横坑のボーリング孔(3孔)を用いた地下水の水圧観測を継続
- ④深度200m,300m,400m予備ステージのボーリング孔を用いた地下水の水圧・水質観測を継続
- ⑤地表からのボーリング孔(6孔)を用いた地下水の水圧・水質観測を継続
- ⑥深度300m研究アクセス坑道のボーリング孔(2孔)を用いた地下水の水圧・水質観測を継続(電力中央研究所との共同研究)
- ⑦深度300m研究アクセス坑道のボーリング孔を用いた地下水の水圧・水質観測を継続(産業技術総合研究所との共同研究)
- ⑧研究坑道内における傾斜計を用いた岩盤の変位計測及び重力計測等(東濃地震科学研究所との研究協力)
- ⑨表層水理定数観測(雨量、湿度、気温等の気象観測及び地下水の水圧の変化を推定するための地表のわずかな傾きの観測等)を継続
- ⑩狭間川における流量観測の継続及び研究所周辺井戸での水位観測の継続
- ⑪研究坑道の掘削土及び排水等に伴う環境管理測定を継続
- ⑫排水処理設備におけるふっ素、ほう素の除去後の排水

【正馬様用地】

- ①地表からのボーリング孔(5孔)を用いた地下水の水圧・水質観測を継続

